

# 令和5年度 地域医療構想における具体的対応方針

## 1. 基本情報

病院名：社会福祉法人恩賜財団済生会御所病院

医療圏：中和

## 2. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

### （1）地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

御所市における公的基幹病院として救急にも対応しているが、当院の機能（医師数・医療資源）が限られていること、また周辺環境（地域の人口減少・高齢化）から考え、「面倒見のいい病院」に求められる機能に特化していく。また、今後常勤医師の維持も難しくなる状況にあって、地域医療を守っていくためには、後方支援病院としての位置づけをより強固にする必要から連携を強化していくこと、さらに地域包括ケアシステムの充実を図るため、現在機能としてある訪問看護ステーションに加えて在宅診療についても取り組む必要があると考えている。

## (2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

当院は、今後も「面倒見のいい病院」として軽症急性期ならびに地域包括ケア病床による回復期の役割を担っていく考えである。当院を含め御所市内の病院では高度急性期医療には対応できないため、対応が必要な場合は中和・南和医療圏の高度急性期病院に受け入れをお願いしているが、治療後の当院周辺地域の患者は、積極的に当院の地域包括ケア病床で受け入れるなど連携を引き続きしていく。また、常勤医師の診療科（内科・外科・整形外科）は限られているが、できる限り医師数の維持に努め、後方支援できる体制を整えたい。

## (3) (2) を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようご説明ください。

御所市を中心とした診療圏では、今後の人口減少から患者確保が困難となってくるため、後方支援病院としてより広域に対応する必要があると考えている。当院は、中和医療圏である葛城輪番および従前より隣接した地域である南和医療圏の南和輪番の中でも活動しているため、輪番内の病院間連携とともに、近隣の高度急性期病院である奈良県立医大・南奈良総合医療センター・大和高田市立病院とは具体的な診療科での連携を図っていきたい。また、在宅診療についても、訪問看護ステーションを活かして地域内の診療所との協力関係も進めていきたいと考えている。

### 3. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※「(2) 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について」を踏まえた具体的な計画について記載してください。

※「(3)」では選択肢によって条件設定を行い、回答内容によりそれ以降の問い合わせに対し、システム上回答不要としている部分があります。この条件設定に不都合がある場合（回答することが適しているが選択できない場合など）は「4. その他」へ回答を打ち込んでください。

#### (1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R5年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び別紙様式「急性期機能の細分化の報告」の数値を記入してください。

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

※最大使用病床数は1年間（R4.4.1～R5.3.31）に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(床)

		H28年度	R5年度	最大使用 病床数	(b) 将来 R7年度	(b-a) H28年度 からの 増減
		(a) 許可 病床数	許可 病床数			
一般病床・療養病床	高度急性期					
	急性期	重症	82			-82
		軽症	49	95	59	95
	回復期		36	72	70	72
	慢性期					
	休棟中（今後再開する予定）		25			-25
	休棟中（今後廃止する予定）					
合計		192	167	129	167	-25
精神病床						
結核病床						
感染症病床						
介護医療院						

→


## (2) 領域ごとの医療機能の方向性について

\*以下[1]～[16]の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

\*選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

### [1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

はい

[1-2]手術の実施

消化器 乳腺

[1-3]化学療法の実施

対応している

[1-4]放射線治療の実施

対応していない

[1-5]拠点病院等の指定

[1-6]今後の方向性

現在行っている手術、化学療法については、継続して行っていく。

### [2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

[2-8]大動脈瘤手術の実施

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

対応していない

[2-10]今後の方向性

医師を含めスタッフが充実しておらず、対応困難である。奈良県立医大や大和檍原病院と連携していく現状を維持していきたい。

### [3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

対応していない

[3-9]奈良県脳卒中地域連携パスへの参加

参加していない

[3-10]今後の方向性

脳神経外科は非常勤医師であり、外来対応のみである。脳卒中領域では、脳外科対応を必要としないかかりつけ患者の診療を行っており、今後も継続していく。

### [4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

はい

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

はい

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]今後の方向性

日中は、受入窓口を今年度から救急担当の看護師に変更し、積極的な受け入れを目指している。夜間は1科当直であり、限定的な対応とならざるを得ない。

## [5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

はい

[5-2]心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応していない

[5-3]脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応していない

[5-4]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-5]訪問リハビリの実施

対応している

[5-6]通所リハビリの実施

対応していない

[5-7]今後の方向性

訪問看護ステーションでのリハビリのニーズも十分にあるため、現状の対応を継続していく。

## [6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

はい

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]訪問リハビリの実施（再掲）

対応している

[6-5]今後の方向性

地域の診療所における在宅医療の状況も見ながら、今後はより積極的に取り組むべき分野であると考えている。

## [7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

はい

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

はい（施設名称をご記入ください）（済生会御所病院訪問看護ステーション あまね）

[7-3]今後の方向性

当院の取組み方針である地域包括ケアシステムの充実に欠かすことのできない領域であり、地域状況も勘案しながら拡充も検討していく。

## [8] ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について定めている

[8-1]今後の方向性

スタッフの育成を第一に、ACPを推進、実践していく。

## [9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[9-2]小児入院医療管理料の算定

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

[9-4]小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

[9-5]今後の方向性

医師不足により小児科を廃止した経緯があり、今後も対応は困難である。

## [10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[10-2]分娩の取扱い

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

[10-4]今後の方向性

医師不足により産科を廃止した経緯があり、今後も対応は困難である。

## [11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

[11-3]D M A T 指定病院の指定を受けているか？

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]今後の方向性

地域医療機関として、災害拠点病院との連携を行い、有事には後方支援等、現状の病院機能を活かして対応を行っていく。

## [12]べき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[12-2]べき地医療拠点病院の指定を受けているか？

[12-3]今後の方向性

近隣の南奈良総合医療センターが機能を有しているため、当院では取り組まない。

### [13]新興感染症等の感染拡大時における医療

[13-1]診療・検査医療機関の認定を受けているか？

はい

[13-2]新型コロナウイルス感染症の陽性患者入院受入を行っているか？

ただし自院に他疾患等で入院していた院していた患者は除く。

はい

[13-3]「感染症患者の受入を想定した研修や訓練」を、年1回以上自院で実施しているか？

はい

[13-4]下記訓練に年1回以上参加しているか？

行政機関（保健所等）や他医療機関等が主催する「感染症患者の受入を想定した研修や訓練

はい

[13-5]下記訓練を、自院で年1回以上実施しているか？

新興感染症の発生に備えた病床確保に当たってのシフトや応援に係る訓練・点検、院外から移送された患者の受入の流れを考慮した訓練

いいえ

[13-6]今後の方向性

新型コロナ対応の経験を活かして、新興感染症の感染拡大時には、病床も確保して積極的に対応していく。

### [14]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[14-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[14-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

いいえ

[14-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

はい

[14-4]臨床研修協力施設であるか？

はい

[14-5]専門研修の基幹施設であるか？

いいえ

[14-6]専門研修の連携施設であるか？

はい

[14-7]今後の方向性

医師数ならびに病院機能が限られているため、現状の対応を維持していく。

## [15]医師の働き方改革

### [15-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得予定

### [15-2]今後の方向性

労働基準監督署と複数回協議を行っており、医師ならびにコメディカルでの許可取得に向けて手続き中である。

## [16]看護職員の研修機能

### [16-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

### [16-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

### [16-3]今後の方向性

## 4. その他